

姫路大学大学院看護学研究科博士後期課程

博士論文に関する審査基準

- ①研究内容は看護学研究として学術的に価値があり実践的な意義を有している。
- ②先行研究を十分に検討し、引用・活用している。
- ③研究成果は関連する看護分野に貢献できることが期待される。
- ④研究課題を解明するために適切な研究方法を用いている。
- ⑤研究計画を十分に洗練し研究を遂行している。
- ⑥研究を遂行するうえで倫理的配慮をしている。
- ⑦研究公正（捏造、改ざん、盗用、二重投稿など）については問題がない。
- ⑧研究内容に独創性・新規性・発展性が認められる。
- ⑨論旨に一貫性があり、論理的に記述している。
- ⑩論文構成が妥当で博士論文として体裁が整っている。